

<p>年間目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●保健的で安全な環境のもと、一人ひとりの欲求を十分に満たし、快適に生活できるようにする。 ●身近な社会現象や自然環境に興味や関心をもって自ら関わり、豊かな心情や探求心・知的好奇心を高める。 ●身についた生活習慣を確かめながら、就学への期待を膨らませ自信と自覚をもって生活できるようにする。 ●豊かな情報を活用しながら、遊びや生活に取り入れて楽しむ。 ●共通の目標に向かって取り組み、自分の力を発揮したり、友達と協力したりして達成することの喜びを味わう。 ●自分の思いを言葉で表現したり、仲間の異なる思いを認めたり、大切にしながら生活や遊びに取り組む。 ●ピアノの伴奏に合わせて走ったり、跳んだり、転がったりしてリズム運動を楽しむ。 	
<p>子どもの姿と育てたい側面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●5歳児クラスになったことの喜びや期待が見られ、4歳児クラスからのつながりのある友だちと一緒に遊ぼうとする。中には緊張感や不安感をもつ子どももいるので、一人ひとりの心に添った援助をしながら5歳児としての自覚を育てていきたい。 ●戸外で活動することを好み、活動量も多くなる。進んで体を動かす心地良さや楽しさを経験できるようにし、健康な体づくりにつなげていきたい。 ●友だちといろいろな遊びや運動を楽しんでいる。友だちとのつながりを深めていきたい。 ●身近な自然や動植物に親しみ、世話をすることの楽しさを味わってきたい。 ●自分から年下の子どもに関わろうとする姿を大切に、優しさや思いやりの気持ちをもち、自信をもてるようになっていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●遊びや生活の中で、自分から進んでやってみようとする意気込みが見られる。友達や環境からの刺激を取り入れて、いろいろなことに取り組む意欲を育てていきたい。 ●気の合う友達と遊びを進めようとする気持ちが強くなるが、互いに主張がぶつかったり、考えが伝わらなかったりする状態が見られる。互いの考えに気が受け入れようとする態度を育てたい。 ●相手の思いや考えに気がつきながらも自己主張する姿がある。その葛藤のプロセスを大事にしなが、自分をコントロールしようとする気持ちを育てたい。 ●身の回りの自然現象や事物に対して興味や関心が高まり、友だちと一緒によく見たり考えたりする様子が見られる。直接体験の中で、友だちと試したり工夫したりして、遊ぶ楽しさを味わえるようにし、自ら考えようとする気持ちを育てたい。
<p>期</p>	<p style="text-align: center;">I 期（4～5月） II 期（6～8月）</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境に慣れ、保育教諭や友だちと一緒に生活する楽しさを味わう。 ●5歳児としての意識をもち、友達との遊びや生活を楽しむ。 ●身近な自然に接し、美しさや季節の変化に興味をもつ。 ●友だちとのつながりを深め、互いの思いを伝え合いながら遊びを進める。 ●夏の自然や身近な環境にふれ、見たり試したり考えたりして遊ぶ。 ●自分の力を十分に発揮して運動や遊びに取り組む。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">心と体の健康 人との関わり 環境との関わり 言葉の育ち 表現する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●十分に体を動かして遊び、進んで食事をすることを楽しむ。 ●園生活での決まりを確認し、進んで守る。また、安全に気を付けて、遊具や道具を正しく使う。 ●新しい場や5歳児としての生活に必要な言葉や表現の仕方に関心をもち、新たな習慣を身につける。 ●災害時の危険を知り、合図や指示に従って安全に行動する。 ●友だちと一緒にいろいろな運動遊びを力いっぱい楽しむ。 ●友だちと積極的に関わる中で、異なる思いや考えに気付く。 ●生活の中で必要なことに気付いて自分でしようとする。 ●年下の子どもに優しく関わり、親しみをもち、5歳児になった喜びを味わう。 ●人の役に立つうれしさを味わう。 ●家族から愛されていることに気付く。家族も自分も大切にしようとする気持ちをもつ。 ●身近な動植物に触れながら、愛情をもって世話をし、親しみをもち。 ●公共の場での行動の仕方を理解して、公共の場でのルールを守り、みんなで気持ちよく生活できるようにする。 ●自然物を取り入れて遊ぶことを通して、自分から気付いたり発見を楽しんだりする。 ●身近な環境に積極的に関わり、気付いたことを表現する。 ●生活に必要な物を数えたり、比べたり、合わせたりする。 ●保育教諭や友だちの話を注意して聞き、内容を理解しようとする。 ●自分の気持ちを相手にわかるように言葉で伝える。 ●感じたことを自由に描く、作るなどして表現を楽しむ。 ●友だちと声を合わせて歌う気持ち良さを味わう。 ●友だちと一緒に工夫して、身体表現、絵画などいろいろな表現活動を楽しむ。 ●お話の展開に興味をもって聞き、保育教諭や友だちと一緒に楽しむ。 ●戸外での遊びや水遊びに進んで参加し十分に楽しむとともに、適切な休息のとり方に気付く。 ●自分から気付いて、汗の始末や衣服の調節をする。 ●自分の体に関心をもち、健康な生活に必要な習慣や態度を身につける。 ●教師や友だちと楽しく食事をし、健康な生活のリズムを身につける。 ●いろいろな運動に興味を広げ、十分に体を動かしてルールを守って遊ぶ。 ●自分なりに目的をもち、挑戦していこうとする。 ●遊びの中で自分の思いを伝え、相手の気持ちや考えをわかろうとする。 ●水の危険性を理解し、約束を守っているいろいろな水遊びやプール遊びを楽しむ。 ●夏ならではのいろいろな遊びを通して不思議さに出会い、友だちと探求しながら遊ぶことを楽しむ。 ●生活に必要な決まりを自分で考え、理解して行動する。 ●身近に起こるいろいろな事象に関心をもち、疑問に思ったことなどを試したり調べたりする。 ●自然現象を遊びに取り入れ、試したり工夫したりするおもしろさを味わう。 ●動植物の世話を通して、命あるものの存在に気が大切にする。 ●栽培物の生長に関心をもち、収穫を楽しんだり、食する喜びを味わったりする。 ●生活の中で図形・長短などに関心をもち、比べたり組み合わせたりして工夫して遊ぶ。 ●身近な用具の使い方に慣れ、安全に使う。 ●いろいろな素材の特徴や性質が分かって遊びに使うようになる。 ●見たこと、考えたことを、いろいろな材料を使って、工夫して表現する。 ●遊びや生活の中で必要なことや伝えたいことを図や文字で表現する。 ●友だちの考えにふれ、自分なりに考えを生み出す。 ●自分の言いたいことを分かるように話すとともに、友だちの話すことにも関心をもち、よく聞く。 ●歌詞やその世界を思い浮かべて、歌うことを楽しむ。 ●友達と一緒に、曲に合わせてリズムカルな動きや合奏を楽しむ。 ●絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう。 	
<p>環境構成の要点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちと共に生活の場をつくっていくことを大切に、その過程を通して5歳児クラスになった実感がもてるようにしていく。 ●●のびのびと安定した気持ちで生活ができるように経験のつながり、1日のめりはりや活動の流れに沿ってゆとりのある時間や場を構成していく。 ●●年下の子と関わるができる場を計画的につくっていく。 ●気候に応じて、子どもの健康に配慮した1日の生活や戸外遊びが行えるよう遮光ネットやパラソルなどを設置するなど環境の構成を工夫する。 ●●気の合う友達と一緒に活動を楽しめるよう、場の構成や時間の配慮をし、時間にゆとりをもつ。 ●身近な自然物とふれあう中で、自分たちの興味や疑問を追究したり、継続して生長を見守ったりすることができる環境を構成する。また、生命の大切さに気付くことにつながる様々な体験ができる機会をつくる。 	
<p>☆保育者の 関わり・援助 (賛護含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★5歳児クラスになった喜びと不安に揺れ動く気持ちを捉えて、一人ひとりに丁寧に応じて援助する。 ★5歳児クラスとして、友だちと一緒に体を動かしたり、戸外で十分に活動したりできるように、環境を整える。何かに挑戦したいと思っている気持ちや、役に立ちたい気持ちを認めていく。 ★安心、安全、安定に支えられた園生活を基盤として5歳児として自分で考え、判断して行動できるよう、友達と話し合いができる機会を大切に作る。 ★友達とのつながりを深めるために保育教諭も仲間に加わったりアイデアを提供したりし、相手の気持ちを感じ取ることができるように援助する。 ★用具や道具を安全に使えるよう一人ひとりの発達や生活を見通して援助する。 ★自分の健康や体について関心をもち、食べ物、運動、生活リズムの大切さなどに子ども自身が気付いて理解するよう援助する。 	
<p>家庭や地域 との連携 (小学校との連携も 含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●5歳児クラスになって意欲的に生活する姿を知らせ、子どもの成長に期待や見通しがもてるようにしていく。 ●生活リズムを整えていくことや、自立に向け認め励まし、健康な体をつくっていく大切さを知らせていく。 ●家庭での様子を聞いたり、園での姿を伝えたりしながら、一人ひとりの保護者との信頼関係を築いていく。 ●災害・緊急時の連絡方法や避難場所を確認する。 ●近隣の小学校と連絡を取り、校庭や学校施設を利用するなど、交流のきっかけをつくる。 ●保護者が子どもの成長を感じられるように、園便りや写真の掲示などで子どもの楽しんでいる様子を伝えていく。 ●家庭と共に夏しか味わえない様々な経験をする機会をつくってもらい家事を手伝う場を作るなど、家族の一員として生活していくことの大切さを話していく。 ●子どもたちの体調については、家庭と連絡を密にとり合う。 ●子どもが試行錯誤しながら育っていく様子を伝え、温かく見守りながら励ますことの大切さを理解してもらおう。 ●降園後の友だち同士との交流が活発になってくることから、園外でのトラブルや親同士の間関係などで悩む保護者の気持ちを十分に受け止めていく。同時に、困ったときは園に相談できるという信頼関係を大切にしていく。 	
<p>園生活の自立に 向けての配慮点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●年度初めは、担任や職員の入替わりがあるので、職員同士、円滑なコミュニケーションを取り合い、子ども一人ひとりの特徴や性格、家庭の状況などをしっかり把握して、安心して園生活が送れるようにする。 ●5歳児クラスで、張り切って生活している姿を見守りながらも、甘えを受け止め、落ち着いて生活できるようにしていく。 ●環境や人の変化に伴い、落ち着かない子どももいるため、一人ひとりの生活リズムを把握し、好きなように過ごせるよう家庭的なくつろげる空間をつくる。 ●夏ならではの生活や遊びの環境を工夫し、休息をゆったりととれるよう配慮する。 ●子ども同士の気持ちの行き違いを味わう葛藤体験に十分に付き合い、子どもが自分で気持ちの切り替えができるように援助する。 ●夏季保育中は、職員の入替わりがあるので、日々子ども達の様子やアレルギーなどの配慮事項を丁寧に伝え合い、安心して過ごせるようにしていく。 	